

東京社保協ニュース

ホームページ <http://www.tokyo-syahokyo.net/>

NO.202号 2010年5月1日 発行

今月の主な記事

- 1～3頁 4.3大集会特集
- 3頁 巣鴨でシール投票
- 4頁 映画「いのちの山河」各地で上映、生存権裁判勝利に向け座り込み、お知らせ

東京社会保障推進協議会(東京社保協)
〒170-0005 豊島区南大塚2丁目33番10号
東京労働会館6階
TEL 03-5395-3165 FAX 03-3946-6823



後期医療制度廃止へ1万1千人がいのち掲げ

前日の雨も上がった4月3日の土曜日、明治公園には「後期高齢者医療制度はますます廃止して！安心の医療を実現して欲しい！」の思いの1万1千人がかけつけました。集会では、民主党が政権に就いたとたん「後期高齢者医療制度の廃止」は4年後に先送り、65

後期高齢者医療制度は安心の医療実現！
4.3大集会IN東京

歳以上を対象にする新たな制度を検討していることが明らかになり、「もうがまんできない！」の大きな怒りが溢れました。運動のシンボル「いのち」の文字は緑。後期医療制度をいまずぐ廃止して、子どもから高齢者まで安全で安心できる医療を！の願いがその色に込められました。08年3月23日・井の



新しい政権が誕生して6カ月が過ぎました。「後期

高齢者医療制度をいまずぐに廃止して「社会保障費の削減をやめて」「いのちを守る政治の実現を」と願った私たち国民の声は、残念ながら届いていません。

私たちの運動は、生活保護の母子加算を復活させ、障害者自立支援法を廃止する方向に進ませました。しかし、後期高齢者医療制度廃止は4年後に先送りし、その範囲を65歳以上に拡大しようとしています。

私たちは、いのちが守られる政治、憲法25条に基づいた国の責任で「いつでも、どこでも、だれでもがお金

頭公園、12月14日・日比谷野外音楽堂、09年6月2日・中野ゼロホールと怒りの集会を重ねてきた私たちの運動は大きく世論を変えてきました。

日本共産党の小池晃参議院議員が励ましと決意を述べ、パレードの先頭を一緒に歩きました。「後期医療制度に怒ってる会」の笹森清氏からも力強いメッセージが届けられました。参議院選挙をしっかりと視野に入れ、今こそ地域社保協の出番です。たまたかいを大きくひろげましょう！

の心配なく、安全・安心の医療と介護が受けられる」社会保障の実現を願います。

後期高齢者医療制度はますます廃止して老人保健制度にもどすこと、公的医療の縮小、国民負担増につながる医療保険の一元化ではなく、窓口負担を軽減し、国と大企業の負担と責任で医療の充実、社会保障の充実を求めます。

今日の集会を機に後期高齢者医療制度はいまずぐ廃止し、安心の医療実現へさらに運動をひろげましょう。

2010年4月3日「後期高齢者医療制度は今すぐ廃止、安心の医療実現をめざす4・3大集会IN東京」

開会あいさつ

吉田万三 実行委員長



集会参加のみなさん、本当にご苦労様です。この集会は後期高齢者医療制度、このとんでもない差別の制度を「今すぐ廃止」ということをスローガンにしている集會です。

はたまたにやめる、ただちに廃止する、このことが重要な点であります。

しかも最近発表された案では、75歳で差別するのはけしからんから、今度は65歳にしましう。こういうとんでもない中身も明らかになってまいりました。しかも、行き着く先は、広域連合という住民の目の届きにくいようなところで、どんな保険料が上がっていく枠組みも残すことも検討されています。



に後押しされて政権が交代しました。今の民主党を中心にする鳩山政権は、国民の声に推されてできた政権です。残念なことに、新政権は風の方で動く船みたいなものから、違う方向から風が吹いたら、向きが変わる心配があるんです。私たちの運動というエンジンこそが、要求を実現し、政治を変える推進力ではないでしょうか。力を合わせて、最後までがんばりましょう。

年齢で差別したり、患者負担が高すぎて医療が受けられないのでは、国民皆保険といえませんが。高齢者は、戦後の日本を再建するために社会に様々な形で貢献してきました。いわば社会保障の財源である日本の富を作り上げ、税金・保険料も払い続けてきた人たちです。このような人たちに差別医療を押し付けることは許せません。

これから後期高齢者医療制度の速やかな廃止、患者負担大幅軽減の議論を前進させるため、働きかけを強めていきたいと思います。

会長 拝殿清名

後期高齢者医療制度は今すぐ廃止を

東京保険医協会

今すぐということが大事な点であり、見直しと書いていずれば廃止するかのようになっています。しかし実態は、ブレーキはかかっていないで、どんどん前に進んでいる。毎日約4千人の方が75歳の誕生日を迎えます。3年経つと新に約4百万人が75歳になると言われています。今大事なことは、こういう悪い制度

「ただちに廃止していったん元の老人保健制度に戻せ」と言いますと、元に戻すのは大変なので、もうちょっと待ってくれ、などという言い訳をしてあるんです。今、大変だったら、3年後はもっと大変じゃないですか。そして、3年も経ったら、もうとつても無理ですから、今の制度の通りやりましよう、ということになる。そういう意味でも、後期高齢者医療制度をただちに廃止する事が今大事になっています。

約10年間に及ぶ構造改革によって、社会保障は深刻な打撃を受けてきました。特に医療崩壊と呼ばれるように、住民の医療を担う地域の医療機関が疲弊する一方で、保険料や窓口の負担が払えないために、医療を受けられない人が増えています。

4・3の集会でも訴えましたが、保険料を



悪い制度、後期高齢者医療制度をただちに廃止する事が今大事になっています。昨年はこの怒り、そして国民の期待

えましたが、保険料を

安心の医療実現！ 4・3大集会 in 東京メッセージ

集会にご参集のみなさま。大変ご苦労さまです。

後期高齢者医療制度が導入されて2年。人間の尊厳を踏みにじる制度への怒りが政権交代の原動力となり、現政権は同制度を撤廃することを表明しました。しかし、次の制度設計まで3年もかかり、それまで現制度が存続することについては、即時撤廃を願う高齢者にとって納得できるものではありません。

私も、2008年に「後期高齢者医療制度に怒ってる会」で怒りの行動を呼びかけた1人として、1日も早く後期高齢者医療制度が撤廃され、安心して医者にかかる、安心して医療に従事できる国民皆保険制度になるよう、皆さまで思いを共有し、ともに頑張る決意を表明し、連帯のメッセージといたします。

2010年4月3日 後期高齢者医療制度に怒ってる会

笹森 清

小池晃参院議員 連帯のあいさつ



みなさん、こんにちは。日本共産党参議院議員の小池晃です。

私は、参議院の予算委員会で鳩山首相に言いました。

「一緒にたたかたじやないか。すぐにやめると言ったじゃないか。なんで変わっちゃったんですか」と。長妻大臣は「やめるのに最低2年はかかると言われたと、そ

集会にメッセージ・賛同を寄せていただいた方
(順不同)

- 精神科医 香山リカ氏
- 後期高齢者医療制度に怒っている会 笹森清氏
- 民主党衆議院議員 小宮山洋子氏
- 高齢社会をよくする女性の会 樋口恵子氏
- 映画監督 大澤豊氏
- 日本生活協同組合連合会医療部会 高橋泰行氏
- 日本共産党委員長・衆議院議員 志位和夫氏
- 民主党参議院議員 蓮舫氏
- 新党日本代表・衆議院議員 田中康夫氏

して新しい医療制度を作る、これができるまではやめられないです」と答えています。

これは話が違うじゃないですか。いつまで経っても差別の制度が続くことになってしまう。しかも、新しい制度はなんと65歳でみんな市町村国保に入れちゃうというのです。財政は別勘定でやるって言うんです。

「姥捨て山」の入山年齢を65歳に引き下げるだけではありませんか。こんなものは断じて許すわけにはまいりません。しかも、医療保険制度の一元化が必要だ、こんなことも言っている。こんなことをしたらば建設国保は解体の危機に瀕します。国保組合や市町村国保には国が責任持っているんです。これを全部一緒にしてしまつたら、国庫負担は低い方へ、事業主負担はなすす方向へ、結局弱い者に痛みがしわ寄せされる。

財源問題だつて真剣にやつてない。結局防衛省の予算、軍事費は去年より増えました。一番増えたのはアメリカ軍の再編経費。事業仕分けで真つ先やるべきことは政党助成金です。各政党の代表を呼んで、厳しく追及したらいいんです。そして、金持ち減税、大企業減税。ここに切り込む姿勢がない。株で何百億円儲けても一割しか税金が取られない。所得税住民税は3割4割なのに、おかしいではありませんか。配当だけで何億円。こういう人が一番

減税される。新しい政権が始まって、政治が変わると期待されたと思うんです。でも、民主党の政治にはちよつとがっかりした。自民党政治に戻すわけには絶対にかない。だったら市民のみなさんが力を合わせて政治を変えていく。その第一歩として、後期高齢者医療制度、この制度をただちにやめよう。この声をご一緒に上げていこうじゃありませんか私ども力を合わせてがんばります。

減税される。

新しい政権が始まって、政治が変わると期待されたと思うんです。でも、民主党の政治にはちよつとがっかりした。自民党政治に戻すわけには絶対にかない。だったら市民のみなさんが力を合わせて政治を変えていく。その第一歩として、後期高齢者医療制度、この制度をただちにやめよう。この声をご一緒に上げていこうじゃありませんか私ども力を合わせてがんばります。

悪巧み跳ね返す 決意新たに

暖かい静かな集会、日和に恵まれ意気高くのぼり旗をもって参加しました。続々とつめかけてきて会場は13時頃は満員。

いよいよ集会、実行委員長吉田万三さんの力のこもった開会あいさつで「一日に日本中で4千人も75歳になる人がいる。こうした実態ですから、被害はどんどん拡大していきま

後期医療制度は即時廃止が圧倒的声

4月14日豊島区 巢鴨の地藏通り商店街で編集部員4人でシール投票の宣伝行動を行いました。「新政権に裏切られた！」という声の多さと、たくさん張られた即時廃止のシールをみて「あきらめかけていたが、みんながまだ怒っているとわかってうれしいう声。1時間で3百数十枚のシールはなくなりました。「結果はどうだった」と離れて様子だけみていた人から突然、話しかけるなど関心の高さを実感しました。(雑誌「いつでも元気」編集部より)



から、被害はどんどん拡大していきます。今すぐ廃止することこそが大切です。」と呼びかけました。私が嬉しかったことは、民主党・小宮山洋子さん、新党日本・田中康夫さん、元連合会長・笹森清さん、共産党・志位和夫さん、文化人、医学者など多くのかたからのメッセージが寄せられた。これはこれからの運動に大きな励みとなります。また、共産党の小池晃さんのキツパリとした歯切れの良い廃止すべきとの一言。そして今、高齢者医療制度改革会議で65歳で社会の隔離部屋に囲い込まうとするところでもない事が議論されているとのこと、あらゆる場所で宣伝をし、すべての力を結集してこうしたい決意しております。

都老協事務局長・坂本光治

「いのちに格差があってはならない」

映画「いのちの山河」各地で上映

板橋は50周年記念で上映

せ、当日も200人以上の区民が訪れました。



板橋社保協は、今年結成から50周年を迎えました。50周年の記念行事として、3月23日に板橋文化会館で映画「いのちの山河」を3回上映し、1300人以上が鑑賞し成功しました。上映に当たっては、板橋区、板橋社協、板橋区老人クラブ連合会、板橋区医師会、板橋区商店街連合会、板橋区男女平等センター、連合板橋、各会派・議員などこれまでの関わりを超えた団体へ率直に申し入れを行ないました。区と社協会が後援を決定し、区内1200か所にポスターを掲示していただきました。

映画の鑑賞者からは「日本にもこんな時代があったのか」「たたく勇氣がわいた」「知人や友人にも見てもう」など、大変好評な感想が多く出されました。

練馬は3000人で上映

4月13日、練馬文化センターで開催された映画「いのちの山河」練馬上映は、約3000人の参加で成功させることができました。

昨年12月に練馬社保協が呼びかけ実行委員会を結成、各団体が憲法25条を生かす社会保障運動として位置づけ奮闘しました。



5月9日(日)	渋谷区 オリンピック記念青少年センターカルチャー棟大ホール	①10:00 ②14:00	Tel.03-6304-2315
5月11日(火)	小平市 ルネゴ33中ホール	①10:00②14:00 ③19:00	Tel.042-342-2846
5月12日(水)	立川市 アミュ立川大ホール	①10:30②14:00 ③19:00	Tel.042-546-1577
5月13日(木)	葛飾区 リオホール	①10:30②14:00 ③19:00	Tel.03-5898-9615
5月20日(木)	八王子市 しちようホール	①10:30②14:00 ③19:00	
6月2日(水)	多摩市 ノリテン多摩小ホール	①10:30②13:15 ③16:00④18:45	Tel.042-621-5589
6月4日(金)	東村山市 東村山中央公民館	①10:00②14:30 ③19:00	Tel.042-391-2402
6月8日(火)	杉並区 ゼオン杉並ホール	①10:30②14:30 ③18:30	Tel.03-3381-0877
6月11日(金)	江東区 ティアラ江東大ホール	①10:00②14:00 ③19:00	Tel.03-3640-2411
7月31日(土)	東久留米市 中央公民館ホール	時間未定	
8月1日(日)	狛江市 エコレマホール	時間未定	
9月1日(土)	日野市 七生公会堂	時間未定	
10月11日(月)	東大和市 ノミグホール	時間未定	

どの会場も製作協力券(有効期限2010年12月末日)がご利用できます。お問い合わせは共同映画担当まで 電話03-5466-2311 ファックス03-5466-2312

高裁判決勝利に向け、座り込み行動

生存権裁判を支える東京連絡会は3月31日、東京高裁前で宣伝・署名提出行動を行い、この日提出の1万6千筆を含む累計14万2219筆・520団体になりました。4月1日は「高齢加算を元に戻して! 国会前座り込み行動」の初日でありました。国に「正当な根拠なく母子加算を廃止しない」「高齢者など国民の最低生活の保障に努める」と約束させ、母子加算の訴訟は最終しました。

「座り込み行動」(4月)には、東京を中心に北九州など全国から延べ202人が参加し、360人の国会議員に訴え、「老齡加算復活」を訴え、民主党や国民新党議員からは「老齡加算復活でがんばりたい」などの反応があり、国民の世論と運動で政治も変化しつつあります。座り込み行動は、5月27日の東京高裁判決日に向けて、5月17〜21日に取り組みます。勝利判決と交渉・要請を通じて、老齡加算の復活、老後も安心できる社会保障を築くため、多くの団体・個人の方に国会前に集まっていただき、お力添えをよろしく願っています。



お知らせ

生存権裁判国会前座り込み

5月17〜21日(月〜金)

東京社保学校・40周年レセプション

5月22日(土)10時開会 けんせつプラザ東京(社保学校修了後レセプション)

2010介護フォーラム

5月23日(日)13時15分開会 文京区民センター(資料代500円)

※5月は常任幹事会はありません。

2010介護フォーラム

